





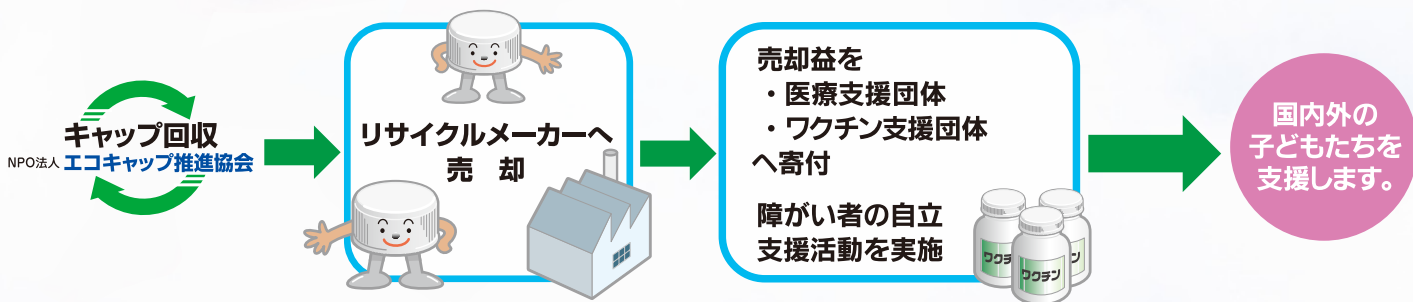
地球に愛を 子どもに愛を

ペットボトルのキャップを集めて
世界の子どもたちの明るい未来をつくりましょう。



あなたの行動が世界の子どもと地球の未来をつくります！

-  **小さなキャップでも、分ければ資源！**
リサイクルして価値ある材料に。
-  **キャップを集めて、地球の温暖化を防ごう！**
ゴミとして焼却処分されると、キャップ430個で約3,150gのCO₂が発生します。
-  **ポリオワクチンは1人分20円！ BCGは1人分7円！**
ワクチンなどの医療支援で子どもたちの命を救います。
-  **国内外の障がい者の自立を支援しよう！**
働く喜びをみんなで共有しよう。



NPO法人(内閣府認証)
エコキャップ推進協会
ECOCAP

<http://ecocap.or.jp>

〒231-0023 神奈川県横浜市中区山下町252 グランベル横浜3F
TEL. 045-900-0294 FAX. 045-900-0295
協力：日本労働組合総連合会、公益社団法人日本青年会議所、労働者福祉中央協議会

私たちはエコキャップ運動を推進していきます

私たちは、子どもの声に耳を傾けているでしょうか。私は、子どもたちの素朴な疑問に耳を傾けることの重要性を感じています。

当運動は、神奈川県的女子高校生たちのペットボトルのキャップを捨てるのは「もったいない」という声から始まりました。

その話を聞いた横浜の戸部小学校の児童が自主的に地域に啓発活動を行い、3ヶ月間で26万個のキャップを収集し、NHK「週刊こどもニュース」が取り上げると全国の学校へと広がりました。

その後、公共広告機構・日韓共同キャンペーン「エコライバルになろう」のコマーシャルやJR東日本の車内モニターでPRされると全国的な認知度が高まりました。

子どもたちが環境のことや世界の貧困について学び語り合い、その課題解決の一助になりたいと、地域ボランティアの方々や企業CSRとの連携支援で更にこの運動は広がりました。

こうした子どもたちの純粋な想いと力は、地域の中小企業に、ペットボトルのキャップのリサイクルという新しい

ビジネスとリサイクル技術革新をもたらしました。

そして積極的にエコキャップ再生ペレットを活用した商品開発を推進する企業が増えてきています。

この運動を通じて、地域社会や企業が子どもたちの想いと力を支援するという社会貢献モデル構築ができました。子どもたちの発想や力が社会に一石を投げ、リサイクルシステムや技術革新までもたらした訳です。なんと素晴らしいことでしょう。

子どもたちは時として素朴な疑問を投げかけ、大人が想像もしない発想をします。

未来を担う子供たちの声に耳を傾けましょう。

そして今、この運動が海外に広がろうとしています。

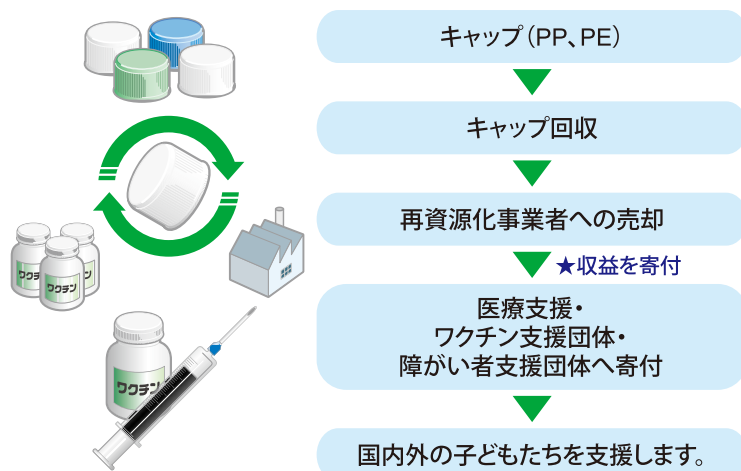
私は子どもたちの発想で生まれたこの日本のリサイクル運動が世界中に羽ばたくことを期待します。

NPO法人(府国生第130号内閣府認証)

エコキャップ推進協会

理事長 矢部 信司

ペットボトルのキャップを外してリサイクル



途上国の医療施設には医療設備や医薬品が不足している地域があります。

エコキャップからのお願い

- 先ず1個集めることから始めてください。
- キャップの送り先については、当協会ホームページの(キャップの送り先)に一覧が掲載されていますので、そちらをご覧ください。
- 清涼飲料など、本体がペットボトルのキャップを対象にしています。
これらを集められる場合は、食品が付着していると異臭が発生することもありますので、簡単に洗浄してください。
大きさも制限ありません。
- ★ 紙のシール(値札)や金属の蓋は必ず除外してください。



NPO法人(内閣府認証)
エコキャップ推進協会
ECOCAP

<http://ecocap.or.jp>